

## 2012 年度夏期研修会 L-ラーニング学習支援システム研究分科会記録

日 時：2012 年 8 月 9 日(木)～10 日(金)

場 所：東京文化会館 小会議室

出席者：小田切夕子(麻布大学)、金子和代(早稲田大学)、小山信弥(関東学院大学)※1、佐藤恵(東北学院大学)、渋谷勝(獨協大学:2 日目記録)、高橋泰行(大正大学)※2、村上明子(桐蔭横浜大学:1 日目記録)  
阿部純也(東京医科歯科大学・講師)※3、田代陽子(日本女子大学)※2、  
(※1:9 日午後から出席 ※2:懇親会出席 ※3:9 日のみ出席)

配布資料：1. L-ラーニング学習支援システム研究分科会夏期研修会タイムテーブル(8/9・10)  
2. 講演資料

### 【1 日目】

議題: 機関リポジトリ運用開始に必要な情報について(1)

#### 1. 基本要素の抽出

(1) 各大学の状況 リポジトリ設置状況と周囲の反応(教職員、学生等)

(2) Facebook と Twitter の活用法

- ・ Facebook:
  1. クローズでスレッドや紹介文を作成していく。
  2. 公開用(ただし、半公開で行う)は紹介状を送る、または参加希望者を審査の上、改めて招待する。
- ・ Twitter:
  1. 情報集めだけでも良いか？
  2. 2 年では難しい。(こちらは、後で考えることになった。)

#### 【ソーシャルネットワークを活用する上で気をつける点】

- \* 情報収集は、既にリポジトリを開始している大学とこれから始める所で意見が混ざる。

↓

意見を分類する必要がある。

- \* 情報交換の場の機能も必要。→多種多様な意見を混乱させないことが今回の課題となる。
- \* アンケートに活用できる意見を取り纏めると同時に、現在は全体的な現状には反映していないが、これからリポジトリ導入過程の動向に表れると思われる現象も拾い上げていく、という二重の調査を常に行っていく。

(以上を踏まえて)

↓

- ・ Facebook のアウトライン作成。  
渋谷さんが「テスト」版を作成。ここから、全体の構成を練り纏める方法を取った。
- ・ Facebook のスレッドを 10 項目程度作り、会話が散乱しないよう誘導する。  
⇒(スレッドの項目結果は、翌 8 月 10 日に大枠と担当を決定。)

(昼食休憩)

## 2. 機関リポジトリ運用開始に必要な情報について(2) 機関リポジトリの基本理解

(1)阿部潤也(東京歯科大学図書館)氏の講演

「機関リポジトリを知る」

(2)質疑応答及びディスカッション

## 【2日目】

### 3. 機関リポジトリ担当者支援コンテンツについての検討

(1)課題:FBグループ名をどうするか

・私大図協は入れた方が良い

【グループ名】リポジトリWG(私大図協Lラーニング分科会)

【設定】非公開「情報」にグループ情報、参加方法などを明記

【参加方法】直接追加、グループへ招待、自由応募

【参加承認】管理人権限を分科会メンバー全員に付与。

参加希望者が現れたら各自適宜判断して承認。

承認を悩む場合は分科会MLへ流し協議する。

(2)課題:Twitterの活用法

・分科会からの情報発信に活用。(FBグループのPR、アンケート実施等・・・)

・議論はFB中心に行い、成果等をTwitterで拡散

・こういう機能が欲しいとか聞いてみたいことがあれば、ハッシュタグをつけてつぶやく。

正式アンケートまでは至らないもの、受け手から簡易に意見を集めたいものなど。

※分科会の公式アカウント

Twitter:[https://twitter.com/l\\_learning](https://twitter.com/l_learning)

名称:私図協 Lラーニング分科会

(3)課題:FB/Twitter 運用ガイドラインの作成

【参加対象者】原則だれでも参加OK。ただし、以下は対象外とする。

≫ベンダー

≫書店

≫委託業者(スタッフとして図書館に勤務している人はOK)

・注意事項

≫グループ内で知りえた非公開情報を公に拡散しないようご注意ください。

≫討論はできるだけ既存のスレッドに流してください。

≫新しい議題を設ける場合は、新たにスレッドを立ち上げてください。

※運用ルールの通知を定期的に流す

意見:グループ情報の部分に、会の目的、ゴール設定を明記しておく必要があるのでは。

- ≫FB の議論を踏まえ、リポジトリ構築に関するアンケートを作成&実施
- ≫アンケート結果を踏まえた報告書を作成。
- ≫リポジトリ構築に関するチェックシートを作成(したい)
- ≫成果物については分科会のリポジトリに登録する。

(4)課題: 初期にFB にあげるスレッドについて。話題のとりまとめのため管理担当を置く。

【答申・方針】小山

- ・文部科学省
- ・自己点検評価

【補助金】

- ・CSI
- ・CSI 以外の実例

【学内的な手続き】

- ・どのような手続き
- ・準備期間
- ・用意した資料

【運用規程】金子

- ・いつまでに定めたか
- ・内容

【コンテンツ】

- ・収集範囲: 教材まで載せているのか、
- ・収集方法
- ・コンテンツ掲載の申請書事例
- ・電子化: PDF, OCR
- ・外注

【広報: 開始前】村上

- ・広報実例
- ・効果のあった手法

【広報: 開始後】村上

- ・コンテンツ収集のための
- ・学外アナウンス
- ・継続的発展のためにやっていること

【著作権】小田切

- ・参照した資料
- ・出版社への問い合わせ文例(和文・英文)

【システム】佐藤

- ・管理・運用体制
- ・登録作業の流れ

【ベンダー】

【参考文献・レビュー】

【雑談・Q&A】

【自己紹介】

#### 4. 見学会

施設見学: 13 時 東京藝術大学附属図書館

施設見学: 15 時 東京文化会館 音楽資料室

#### 5. 今後のスケジュールについて

- ・8 月中に澁田が非公開で設置する FB グループの雛形を既存の「L ラーニング(テスト)」で作成。
- ・雛形についてメンバーで再確認し調整を行う。
- ・その後、正式なグループを作成。(9 月あたから発信開始したい)

#### 【分科会の今後】

- ・11 月 16 日 研究部交流会(研究分科会)  
持ち時間 5 分ぐらい。分科会活動や今後の予定など。  
(今年は分科会校が少ないので持ち時間は増えるかも)  
発表後、講演会、交流会などあり。
- ・11 月 29 日 30 日 研修会(研究部・研修委員会)  
佐藤さんの発表あり。澁田も saveMLAK 絡みで参加する可能性あり。
- ・11 月 16 日の発表者をどうするか。
  - ・佐藤さんは 29 日 30 日研修会で発表あり
  - ・小山さんは個人参加なので発表はできない。
- ・9 月より FB・Twitter 等を活用して活動を進める。
- ・10 月に ML で定例会するかどうかを検討。11 月の研究部交流会の発表内容等を含めて。

発表者は、高橋、澁田のどちらかだが、澁田が総合展、研修会にかかる可能性があるため、可能であれば高橋さんをお願いする。当然、全員でバックアップ体制を設ける。

村上さん 来季、またはこれからでも正会員になれるかも。

→正会員になると助成金がはいる。

→分科会 基本助成額 3 万円(固定)+正規 or 正規 ML に 1 名につき 5 千増額

→8 月~11 月までに参加すると半額が助成される。

例)今期:小田切 金子 高橋 佐藤 澁田 →5000@5=25000